

from

令和7年10月発行

ほうかつ

特集！

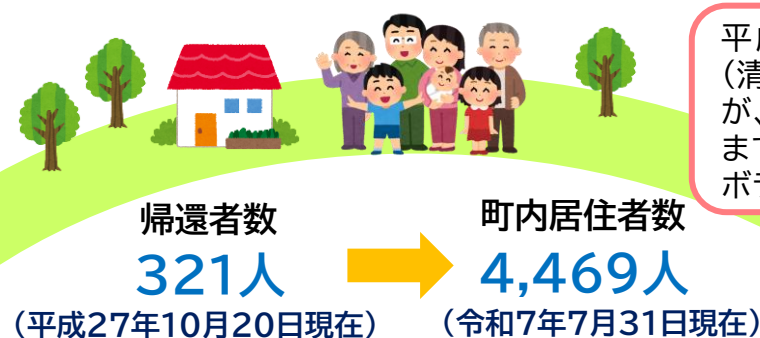
ぐんぐん成長中！檜葉の地域づくり ～この10年で見えてきた地域活動の変化～

今年、檜葉町では全町避難指示解除となって10年の節目を迎えました。地域づくりもこの10年で大きく進み、地域活動や社会参加の場が増えました。地域活動や社会参加を通して、生きがいや楽しみ、地域のつながりが生まれていることは、檜葉町の地域づくりの魅力となっています。今回は、この10年で見えてきた地域活動の変化や、住民の皆さんから寄せられた「檜葉町の未来」「自分の未来」へのメッセージをご紹介します、この先の地域づくりについて考えます！

ゆず太郎が
ご紹介します

帰町から10年…。
こんなに地域活動が増えています！

帰町後も減少することなく5地区で
元気に活動中！



平成27年度の活動は2つ(清掃、移動支援)のみでしたが、現在は配食から草むしりまで多岐にわたり、36名がボランティア登録しています。

老人クラブ

老人クラブ(奉仕活動、ニュースポーツ等)、**地域ミニデイ**(各集会所で行われる体操や茶話等)、**地域行事**(夏祭り等)、**ボランティア**(配食、移動支援等)、**農福連携**(農作業の個別体験、福祉農園での野菜づくり等)が充実し、誰もが参加できる場が増えました。また、震災以降休止していた**ファミリー・サポート・センター事業**も令和6年度より再開され、地域での子育て支援活動も進んでいます♪

ボランティア
(社協登録)

障がい者や認知症の方でも気軽に農業に関われる機会を作っています♪

農福連携

地域ミニデイ
(地域の通いの場)

帰町後、2か所でスタートしたミニデイは18か所に拡大し、住民主体の通いの場として元気に活動しています！

急な用事の時に
子どもを預かって
もらっています♪

ファミリー・サポート・
センター事業

困った時はいつでも
声をかけて頼っ
てほしいよね！

令和5年度から6地区で夏祭りが復活し、「ならは百年祭」という新しいお祭りも誕生しました！

地域行事(夏祭り)

「檜葉町の未来」「自分の未来」に寄せるメッセージ ～地域ミニデイから聞こえてきた住民のねがい～

全町避難指示解除から10年の節目を迎え、地域ミニデイに参加する住民の皆さんから「檜葉町の未来」「自分の未来」に寄せるメッセージをいただきました。皆さんの思いを一部抜粋してご紹介します。

一生懸命生きたあか
しに…100歳まで
精いっぱい生きる！

檜葉町の良さを世界中の
人に知っていただきたい
と思います

檜葉で育った子どもたち
が、将来、町の発展のた
めに活躍してくれること
を期待します！

自分が生まれ育った大好き
な檜葉町。これからも人々
が集まり、暮らしやすい町
でありますように！

子どもたちが希望の
持てる町になったら
いいな♪

毎年サケが戻ってきて
活発になるように祈っ
ています！

いつまでも元気で自分の
足で歩けるように！転倒
しないで何にでも参加し、
楽しい余生を送りたい♪

2025年 ならは農福フェスのご案内

「ならは農福フェス」が今年度も開催されます！ならは農福フェスとは、これまで個別に開催されていた農業の祭典「ならSUNフェス」と、福祉の祭典「ならはコミュニティコレクション(通称:ならコレ)」を合同開催するもので、昨年度初めて開催されました。今年度も、多彩な作品展示、ならコレシンポジウム(寸劇、トークセッション)、ブース出展等を通して、町の農業・福祉・健康づくり・地域づくりを身近に感じていただけるイベントを目指し、準備を進めているところです。**今年度は、11月15日(土)開催予定**で**詳細な開催概要は「広報ならは11月号」でご案内します**♪皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください！



高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。



榎葉町認知症キッズサポーター の輪が広がっています！

小学生を対象とした『認知症キッズサポーター養成講座』では、“認知症ってどんなこと？”や認知症という病気により「覚えられなくなる」、「忘れてしまう」、「不安な気持ちで怒りっぽくなる」、「迷子になって家に帰れなくなる」等の認知症の特徴について学んでいただきます。

包括職員が演じる寸劇では「認知症のおばあちゃんと孫の日常」を通じて、認知症の方に対してのやさしい声掛けの方法を分かりやすく演じました。最後にサポーターの証として、参加した児童たちとバッジ作りを行い、バッジには認知症の方への接し方で大切だと思った言葉を各自で書きました。認知症になっても、周りの人のやさしい声掛けやちょっとした手助けがあれば、安心して生活をおくることができるということを心を込めてお伝えしました。

令和7年8月22日(金) 榎葉町保健福祉会館にて開催



認知症ってな～に？



認知症サポーターの証
サポーターバッジ作り♪



寸劇「認知症のおばあちゃんと孫の日常」

認知症の方への 関わり方のポイント

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③プライド(心)を傷つけない



声掛けのポイント

- 前から話しかける
- 笑顔で
- ゆっくり
- やさしく
- 短くわかりやすい言葉かけ

～キッズサポーター養成講座参加者の感想～

- ・『認知症は脳の病気なのだと分かった。』
- ・『困っている人を見かけた時には声をかける。』
- ・『忘れてしまっても、やさしく教えてあげる。』
- ・『自分のおじいちゃんおばあちゃんが認知症になってもやさしくする』

23人のキッズサポーターが
誕生し、榎葉町はまた1歩、
やさしい町に近づきました！



お気軽にご相談
ください！

『キッズサポーター養成講座』のご依頼承ります！

「認知症キッズサポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、声掛けやちょっとした手助けができる小学生の皆さんのことです。榎葉町地域包括支援センターでは、認知症になっても、高齢になっても、これからも**住み慣れた榎葉町で元気に過ごすために、やさしい町づくりを皆さんと一緒にやっていきます！**ぜひ、授業の一環や課外活動、地域の子ども達が集まる場所等での認知症キッズサポーター養成講座の受講をご検討ください。



認知症地域
支援推進員
馬上

榎葉町地域包括ケアシステム

まじわる つながる 支え合う リレー

榎葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。ならはみらいから榎葉町食生活改善推進員会（通称：食改）にバトンが繋がりました。

第15走者



榎葉町食生活改善推進員



榎葉町食生活改善推進員会
のみなさん

食改とは、食を通して地域の健康づくりのために推進活動をするボランティア団体のことです。榎葉町食生活改善推進員会は、昭和62年に設立され、町民の方々が元気に生活できるよう、健康でおいしい食事作りを地域に広める活動を行っています。こどもから高齢者まで、健全な食生活を実践できるように、地元の食材を使った調理や、郷土料理の継承など、様々な視点から食育を捉え、健康づくり活動を推進しております。

(目的)

“私たちの健康は私たちの手で”をスローガンに、食を通して地域の町民と交流を図り健康づくりを推進する。

(主な活動内容)

- ・地域の方々に向けた減塩を心掛けたバランスのいい食事の普及・啓発活動
- ・地元野菜を使った榎葉町食改オリジナル料理『かあちゃんのかたまりすいとん』
- ・こども園、小・中学校向けの料理教室、親子料理教室（町事業、学校との連携）
- ・会員内の自主研修等

地元野菜を使い、塩麴で
ヘルシーに作りました♪



かあちゃんのかたまりすいとん

現在14名の会員で
がんばっています！

～入会したきっかけはなんですか？～



榎葉町の
郷土料理や地域の方々
とのつながりを大切に
したいと思い食改の活
動を始めました。



友人たちが地域の方たち
のために食事作りや推進
活動を行っているのを見
て、自分も地域の為に力に
なりたいと思いました。



食べること、
料理を作ることが純
粋に好きで、地域の
力になりたいと思い、
活動を始めました。

～これからの想いを教えてください～

これからも地域の皆さんが食を楽しみながら、健康的に生活をおくれるよう、地域活動を進めていきたいです。これからの展望として、独居高齢の男性向け『男の料理教室』の開催や、忙しいパパママ世代の為の時短でできる健康調理等、現代社会の課題に沿った活動にも町民の皆さんの声を聞きながら、取り組んでいきたい…と考えています。食についての悩みがある際には、ぜひ、お気軽に榎葉町食生活改善推進員会にお話してください。また、一緒に活動してくれる会員さんを随時募集しております。活動に興味がある方はぜひご連絡ください。

(榎葉町食生活改善推進員会事務局(保健福祉課保健衛生係) TEL：0240-23-6102)

～みんなのつぶやき～ テーマ「ちいさい秋み～つけた」



センター長 江尻

あちこちの飲食店で“お月見メニュー”が出現すると、「あ～秋だなあ」と感じます。それにしても、なぜ人は月を見上げるのだろう。



生活支援コーディネーター 小林

スーパーやコンビニでさつま芋、栗のお菓子が並ぶと秋だなあと感じます。秋の味覚を楽しみます！



社会福祉士 岡崎

最近涼しくなり、過ごしやすい気温になりました。夜になると、秋の虫の大合唱を聴き、秋を感じはじめた今日この頃です。



看護師 馬上

まだまだ暑い日が続いていますね。私は、まだクーラーが欠かせません。秋はやってきているのでしょうか？心配しているところです。